

令和5年度 後期 学校評価アンケート(12月実施)の集計結果をお知らせします

まだまだ寒さ厳しい折ですが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

さて、大淵第一小学校では、学校教育目標「学び合い 自らを高める 大淵の子」、重点目標、「聴いて 自分から ことばで伝えよう！」に向け子どもたちの主体性を育むことを課題とし、自分の意志、判断に基づいて、何事にも前向きに行動(表現)する子を目指し、その育成に取り組んできました。12月には「学校評価アンケート」について、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。保護者の皆様や子どもたちのご意見をもとに、令和6年度に向け検討を重ねてまいりました。検討結果も含めて、主な項目についてご報告いたします。

さて、学校評価アンケートの結果ですが、多くの質問項目において、「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的な意見を合わせると、80%を超えていることから、学校全体として、保護者の皆様と職員とで足並みをそろえ、子どもたちの指導、支援を行えて来たことが分かりました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。



◇学習面について◇

【質問項目 1,2 および 4,5】より、子どもたちの多くが学校に楽しく通い、友達と関わり合いながら、学習に取り組んでいることが分かり、とてもうれしく思います。毎日の学校生活で子どもたちが一番長い時間を過ごすのが授業です。その時間が子どもたちにとって充実したものになることが、私たち教職員にとって一番大切です。【質問項目9】において、子どもたちも保護者様も評価してくださっていてうれしく思います。

一方で、【質問事項 3,7】の結果から“家庭学習への取り組み”や、“相手に自分の考えを伝えること”に課題が見られます。➡教職員で自分の思いを伝えるために、授業をどのように改善していくことがよいのか話し合いました。課題の工夫や、話し合う際のテーマや目的をはっきりさせるなど、授業改善について議論しました。

また、【質問項目8】に見られるように、読書の習慣が定着していない実態が見られます。2月の学年だよりにて定着度調査の分析が出ていましたが、初めて目にする文章に苦手意識があったり、算数の文章問題の内容を正確に読み取ることに課題が見られたりしました。➡日課の中に読書をする時間を設けたり、家庭読書を行える機会を増やしたりすることを検討し、来年度導入する予定です。



令和5年度 後期学校評価 児童・保護者・教員調査結果 比較(令和5年度12月実施)

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

質問項目		令和5年度 後期(12月実施) (%)			
		A	B	C	D
1 お子様は、学校(学級)に楽しく通っている。	児童	54.7	36.8	5.7	2.8
	保護者	37.6	57.6	4.0	0.9
	教師	5.3	94.7	0.0	0.0
2 お子様は、授業で教師や友達の話を分ろうとして聞いている。	児童	51.8	43.8	3.8	0.6
	保護者	26.8	66.2	6.8	0.2
	教師	5.3	84.2	10.5	0.0
3 お子様は、自分の考えを相手に分かるように伝えている。	児童	33.2	48.5	14.9	3.4
	保護者	14.1	64.4	20.2	1.3
	教師	5.3	73.7	21.1	0.0
4 お子様は、友達と協力して仲よく学校生活を送っている。	児童	57.1	36.5	5.2	1.2
	保護者	30.8	64.6	4.0	0.7
	教師	26.3	73.7	0.0	0.0
5 お子様は、授業で学ぶことや友達と学ぶことを楽しんで取り組んでいる。	児童	46.9	37.0	11.7	4.4
	保護者	28.4	62.6	8.6	0.4
	教師	15.8	84.2	0.0	0.0
6 お子様は、学校で学習している内容が分かっている。	児童	41.7	45.3	10.6	2.3
	保護者	13.4	68.6	16.3	1.8
	教師	0.0	89.5	10.5	0.0
7 お子様は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	児童	39.4	35.4	17.2	7.9
	保護者	11.0	50.5	33.4	5.1
	教師	5.3	73.7	21.1	0.0
8 お子様は、学校図書館をよく利用し学校や家庭において進んで読書をしている。	児童	37.8	30.3	20.4	11.5
	保護者	17.8	35.2	35.8	11.2
	教師	5.3	78.9	15.8	0.0
9 学校は、お子様に分かりやすい授業づくりの工夫をしている。	児童	66.1	27.9	4.8	1.2
	保護者	16.0	74.7	8.4	0.9
	教師	5.3	89.5	5.3	0.0
10 先生はタブレットなどのICT機器を授業場面で活用している。※とてもそう思う(ほぼ毎日)、そう思う(週1回以上)、あまりそう思わない(月1回以上)、そう思わない(ほとんど使わない)	児童	37.1	54.7	6.4	1.9
	保護者	12.5	46.6	26.6	14.3
	教師	52.6	42.1	5.3	0.0
11 お子様は、友達を「さん」をつけて呼んだり、あたたかい言葉遣いで話したりしている。	児童	38.5	40.5	13.1	7.9
	保護者	18.0	63.5	16.5	2.0
	教師	0.0	84.2	15.8	0.0
12 お子様は、友達や地域の方、学校の職員に進んで元気の挨拶をしている。	児童	47.9	32.3	15.4	4.4
	保護者	16.0	58.5	23.1	2.4
	教師	31.6	36.8	31.6	0.0
13 お子様は、周りの友達に対して思いやりのある態度がとれている。	児童	41.1	45.6	11.1	2.2
	保護者	19.8	76.3	3.5	0.4
	教師	31.6	63.2	5.3	0.0

◇生活面について◇

【質問項目12】において、あいさつがもっと盛んになってほしいと感じている保護者様や教員が多いという結果が見られます。学校運営協議会の方々からは、あいさつをほめていただいたことがあります。登下校中に地域の方へのあいさつはできているようですが、校内でのあいさつをもう少し盛り上げていきたいところです。➡子どもたちも何とかしようと、昼休みに「あいさつ隊」が廊下であいさつをして盛り上げてくれました。そういった、子どもたちから出てくる活動を見守ると同時に、私たち大人が率先してあいさつをする姿を見せたいと思います。

また、【質問項目 14,15,20】において、子どもたちが目標をもったり、自分の良いところを認識しづらかったりする状況が見られます。➡この結果を改善するために、失敗が許される雰囲気の中で、子どもたちがのびのびと様々なことに挑戦できる学校にしようと考えました。今年度、OMO(大淵みんなのオリンピック)に向け、子どもたちが主体性をもって計画段階から参加することに挑戦してきました。そのような取組を増やし、令和6年度も私たち教職員は、子どもたちの「やってみよう(学級活動や行事などの特別活動)」を大事に、周囲はそれを「支え合おう(生徒指導)」と取り組んでいきたいと思っています。そうすることで、【質問項目19】に見られるように、学校や教職員に相談しにくいと感じさせてしまっている雰囲気の改善にもつなげていきたいと考えています。



最後に、1月に発生した能登半島地震において被害に遭われた方々や、今も避難生活を強いられている方々のことを思うと胸が苦しくなる日々です。私たちが住む静岡県において、今回の地震は決して他人ごとではありません。【質問項目17】では、子どもたちと、私たち大人との間に大きなずれがあります。年間3回の避難訓練を始め、引渡し訓練や防犯訓練など行っています。加えて、各学年が様々な防災教育と体験を行っていますが、子どもたちにとっては、まだまだ自分事になっていないのかもしれない。

➡今年度行った避難訓練では、1カ所地震で崩れた想定で通れない避難経路をつくりました。その場所は教員にも伝えず、その場で考えなければならないという工夫をしました。令和6年度も引き続きそのような工夫を取り入れ、子どもたちも含め私たち教職員も防災に対する意識を高めて、非常事態に対応できるようにしていきます。そして、【質問項目23,24】の結果をさらに向上させられるよう努力してまいります。

【質問項目25】について。現在、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)が学校に派遣されています。「C」と回答されたお声が多かったのが「相談したいことがないため」というものでした。困り感がないことはよいことかもしれませんが、それでも、お子様との関係や、家庭環境でお困りのことがあれば、SCやSSWに育児相談をされることをお勧めいたします。その場合は担任でも教頭でも大丈夫ですので、気軽にご連絡をいただけたら幸いです。

SCとSSWの違いは簡単に言うと専門性の違いです。SCは心理の専門家であり、SSWは社会福祉の専門家です。子育てにおける悩みを心理面と他機関とのつながり面で支援して下さる方々です。

令和5年度 後期学校評価 児童・保護者・教員調査結果 比較(令和5年度12月実施)

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

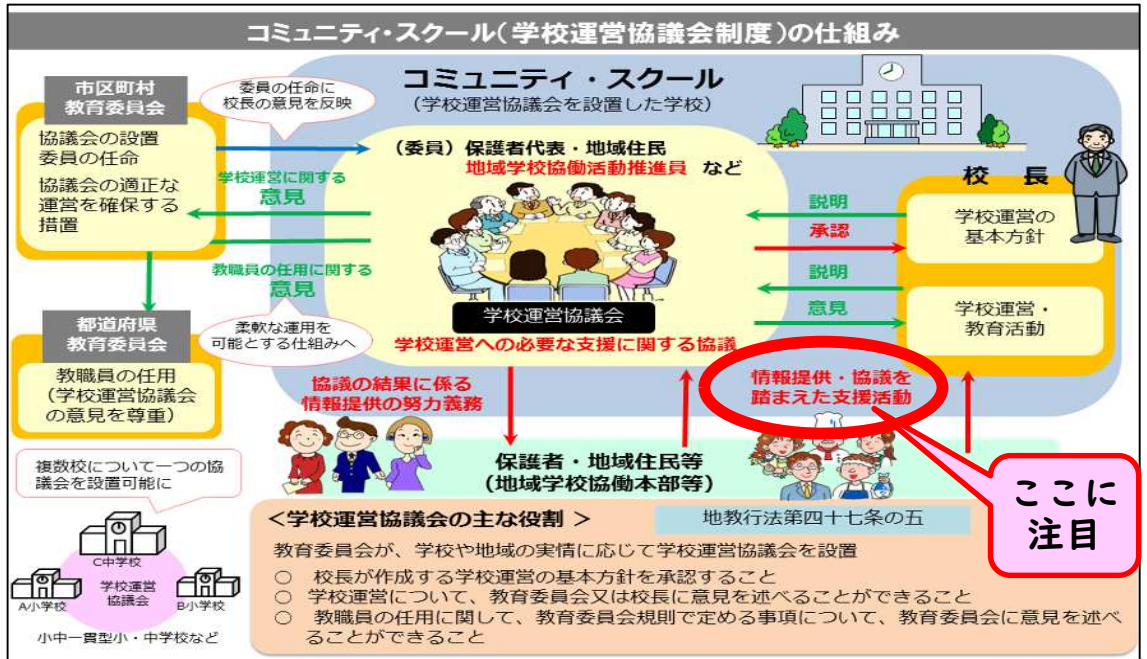
		令和5年度 後期(12月実施) (%)				
質問項目		A	B	C	D	
14	お子様は、めあて(目標)に向かって生活をしている。	児童	34.5	35.0	21.4	9.1
		保護者	9.5	65.3	22.4	2.9
		教師	5.3	78.9	15.8	0.0
15	お子様は、自分に良いところがあると感じている。	児童	30.6	39.3	17.5	12.7
		保護者	14.9	72.7	12.1	0.2
		教師	5.3	68.4	26.3	0.0
16	お子様は、ふだんの生活の中で、自分や周りの人の安全や命を大切にしたい生活ができる。	児童	52.4	39.2	6.2	2.2
		保護者	22.6	69.5	7.5	0.4
		教師	5.3	57.9	36.8	0.0
17	お子様は、緊急時にも「自分の命は自分で守る」を意識し、自ら判断して安全な(落ち着いた)行動ができると感じる。	児童	54.1	35.6	7.9	2.4
		保護者	11.6	61.3	25.5	1.5
		教師	21.1	57.9	21.1	0.0
18	お子様は、外で遊んだり、運動したりして体を動かしている。	児童	50.4	24.8	17.1	7.7
		保護者	37.8	41.5	18.2	2.4
		教師	36.8	52.6	5.3	5.3
19	お子様のことで困ったことや悩みがあるとき、学校に相談しやすい。相談できる職員がいる。	児童	40.3	28.2	18.8	12.7
		保護者	17.8	67.7	13.0	1.5
		教師	10.5	89.5	0.0	0.0
20	お子様は、学校や家庭の中で、主体性を発揮する場面が増えてきたと感じている。	児童	39.8	38.8	16.6	4.8
		保護者	14.1	65.7	19.6	0.7
		教師	15.8	84.2	0.0	0.0
21	3、4年生の保護者の方にお聞きます。算数の授業で、子どもの人数を減らして教える授業(3、4年生)は効果があると感じる。	児童	57.9	28.1	9.9	4.1
		保護者	29.2	61.1	7.6	2.1
		教師				
22	本校はコミュニティスクール(CS)になって4年目になります。CSディレクターを中心に地域と連携が深まってきていると感じる。	児童				
		保護者	5.3	59.3	31.0	4.4
		教師	42.1	57.9	0.0	0.0
23	学校は、お子様の安全を確保するための取組や努力をしている。	児童				
		保護者	18.0	74.9	6.2	0.9
		教師	21.1	78.9	0.0	0.0
24	大淵第一小学校は開かれた学校で、安心してお子様を任せられる学校であると感じる。	児童				
		保護者	20.0	72.1	7.5	0.4
		教師	15.8	78.9	5.3	0.0
25	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをもっと活用したい。	児童				
		保護者	5.3	60.2	28.1	6.4
		教師	42.1	52.6	5.3	0.0

保護者の皆様からの声(複数記述)

(1)学校運営協議会(以後:協議会)(コミュニティー・スクール:略してCS)について

大淵第一小学校は、CSになって4年になりました。【質問項目22】を見ると、「CおよびD」と回答された方の割合が58.2%(R4)から35.4%(R5)と改善されてきたものの、まだまだ皆様に周知されたとはいえない状況です。また、令和6年度からは、富士市の全ての中学校もCSとなります。令和6年度、大淵中学校区では、年間3回合同で協議会を行う予定です。(それとは別に、小学校単独で1回開催します。)

まずは、右の図をご覧ください。これは、前期にも紹介した文部科学省のホームページにあったCSの説明図です。2月13日(火)の協議会において、皆様にご協力いただいた学校評価をもとに、令和6年度の学校経営方針について協議していただきました。そこで出された



意見をもとに、保護者の皆様や地域の方に支援活動をお願いさせていただきます。上の図ですと【ここに注目】と囲んだ部分です。今年度、実際に皆様にお願ひした例として、

- 図書ボランティア
- 社会科見学や生活科の探検等の見守り
- 2年生の野菜育て指導
- 研究授業時などに教室の自習見守り
- プールの見守り
- 販売体験などがありました。これらの活動に多くの保護者様や地域の方、店舗の方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。



現在、協議会では、「あいさつや登下校の見守り」と「学校・地域活動参加」グループに分かれて、より地域全体で大淵一小的子どもたちを育てていくための仕組みについて話し合っています。そのために、まちづくり協議会定例会にも参加させていただきました。令和6年度の協議会開催日時は、今後配布する年間行事予定に掲載させていただきますので、ご興味がある方は、学校までご連絡ください。参観できる用意をさせていただこうと思います。

(2)子どもたちの安心・安全の確保について

- ・高学年になり、人間関係で悩むことが増えてきました。
- ・内気な性格でなかなか自分から話しかけられないようです。もう少し頑張って話し掛けられるようになってほしいと思いました。
- ・荒天時の登校について疑問をもつことがありました。
- ・子どもが学校の先生方に対して親しみをもって安心していきます。今後も、報道等で見聞きするような、心が傷つくような言動がない学校であってほしいと願います。

学校は、子どもたちが安心して安全に過ごせる場所であればなりません。そのために私たち教職員は、子どもたちの人権を大切にした言動を心掛けなければなりません。そのために、会議で確認したり研修を行ったりしています。また、今後も継続していくとともに、令和6年度の教育活動について検討をする中でも、そのことを確認いたしました。生徒指導の重点テーマを「支え合おう」としたのもそのあらわれです。

様々な天候に対する登下校の安全確保について、保護者の皆様に不安にさせてしまったことは本当に申し訳ありませんでした。天気予報を見て、中学校とも協議をして決定していますが、今後はさらに安全な登校になるよう、慎重に判断してまいります。

(3)大淵第二小学校と統合したことについて

- ①友達が増えて喜んでいる。
- ②子どもが二小の子と一緒にいることをすごく楽しみにしていました。学校でも仲よく過ごさせています。
- ③二小でやっていた太鼓をやってみたいと言っています。

今年度、大淵第二小学校は大淵第一小学校と統合しました。自分たちが通っていた学校が無くなってしまふことは、大変悲しいことだと思います。それでも子どもたちは、そのことを乗り越えて楽しく過ごしていることをうれしく思います。①②にあるように、令和4年度に交流を重ねてきたことで、子どもたちはとても仲よく過ごさせています。子どもたちに同じ質問をしたところ、「幼・保育園で一緒だった友達と再会できてうれしい。」「OMOでは大人数で盛り上がれて楽しかった。」など肯定的な意見がたくさん聞かれました。保護者様から「大淵第二小学校に遊びに行く学校行事があるとよい」というご意見をいただきました。距離を考えると学校行事では難しいので、PTA行事でできることはないか考えてみたいと思います。また、③については、大淵一小的の児童も何名か練習に参加しているようです。2月末に、全校の前で演奏会を行います。



一方で、次のようなご意見もいただきました。

- ④二小学区の子どもたちだけ市からの補助でタクシーが出て、さらに西駐車場で乗降できることに対して、一小的の保護者には疑問をもっている方もいます。
- ⑤一小的の子どもの中にも、徒歩では通えない距離に住んでいる子がいて、保護者が送迎しています。一定の距離以上だったり、特定の地区は全域でスクールバスが利用できるとありがたいです。

二小の子どもたちがスクールバスで通っている件については、次のような理由です。

- 1)富士市教育委員会の方針(学校規模の適正化)により、富士市が大淵第二小学校を閉校し大淵第一小学校と統合することと決めた。
- 2)統合にともない、通学に対する保護者様の不安を解消するために、話し合いを通して、編入統合されるまで大淵第二小学校に通学していた児童に対して、通学の保障を行うことが決定された。
- 3)複数の学年の児童が乗車したかを把握する必要があり、当初計画していた大淵中北駐車場では、試験登校を行った際、安全に人数を確認することが困難と考えたため。

大淵学区はとても広い学区で、面積で言うと富士市の面積のおよそ19%にあたります。本当に特殊な地域と考えています。実際⑤にあるように、4km以上離れた場所から通う子もいます。そのため、他校では例がない送迎用の駐車場を学校とPTAで借りるという対策を取っています。そういった通学事情のご家庭の保護者様には、富士市からの遠距離通学に係る支援がありますものの、大変なご苦勞をお掛けしてしまっていることを心苦しく思っています。旧大淵第二小学校区から通学する児童への対応と合わせて、富士市と検討を重ねていきたいと思ひます。

(4)OMOについて

OMOについて、開催方法や日時についてご意見をいただきました。本校では、OMOも子どもたちが主体性を育むものにとらえ、準備段階から子どもたちの思いを受け止めて作り上げていくことを継続していきます。主体性は、現在社会において強く求められている力だからです。また、開催日時については、平日で給食提供日に計画しています。休日、平日両方のご意見をいただいています。休日開催だと休みが取りやすい。平日開催だと、代休日に休みを取る必要がないなどというものです。本校として、平日開催とさせていただいたのは、子どもたちの生活リズムをあまり変えずにいたいと考えたためです。保護者の皆様にはご不便をかけることがあるかと思ひますが、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

(5)本校のよいところ

- 明るく元気(児童も先生も)な学校
- 子どもたちが素直で優しい
- 地域で見守っている
- 子どもたちがのびのびとしている
- 先生と子どもの距離が近くて話しやすい
- 子どもの気持ちに寄り添ってくれる
- 上級生が下級生に優しい
- 子どものことについて、担任だけでなく他の先生も知っていて話しやすい
- 子どもたちが中心となって考えている行事が多いと感じる



いただいた、これらの大淵一小的の強みを生かして、令和6年度も子どもたちが楽しくも充実した生活ができる学校を目指していきます。150周年の横断幕にある「明日も行きたくなる学校」を、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に作っていきたく思ひますので、今後ご協力をよろしくお願ひいたします。